

家族を大切にすることと一緒に、 自分を大切にすることを教える

今まで学校では、家族の一員としてできる仕事に取り組むことや、家族のために頑張ることの素晴らしさについて指導してきました。

一方、ヤングケアラーである児童生徒は、家族のお世話を優先しなければならない環境にあり、右のグラフのように自分自身の生活に様々な影響が出ると言われています。

そこで、家族について考える授業を行うにあたっては、家族を大切にすることと同じくらい自分を大切にすることの大切さについても教え、そのバランスを考える力を身に付けさせることや、バランスが崩れてしまったときに周りの人に助けを求めることのできる力を養うことが重要です。

授業例

[小学校1年生 生活科「いえのしごとをしらべよう」](#)

[小学校3年生 学級活動「家族のことで困ったときは…」](#)

[小学校5年生 道徳科「かけがえのない家族」](#)

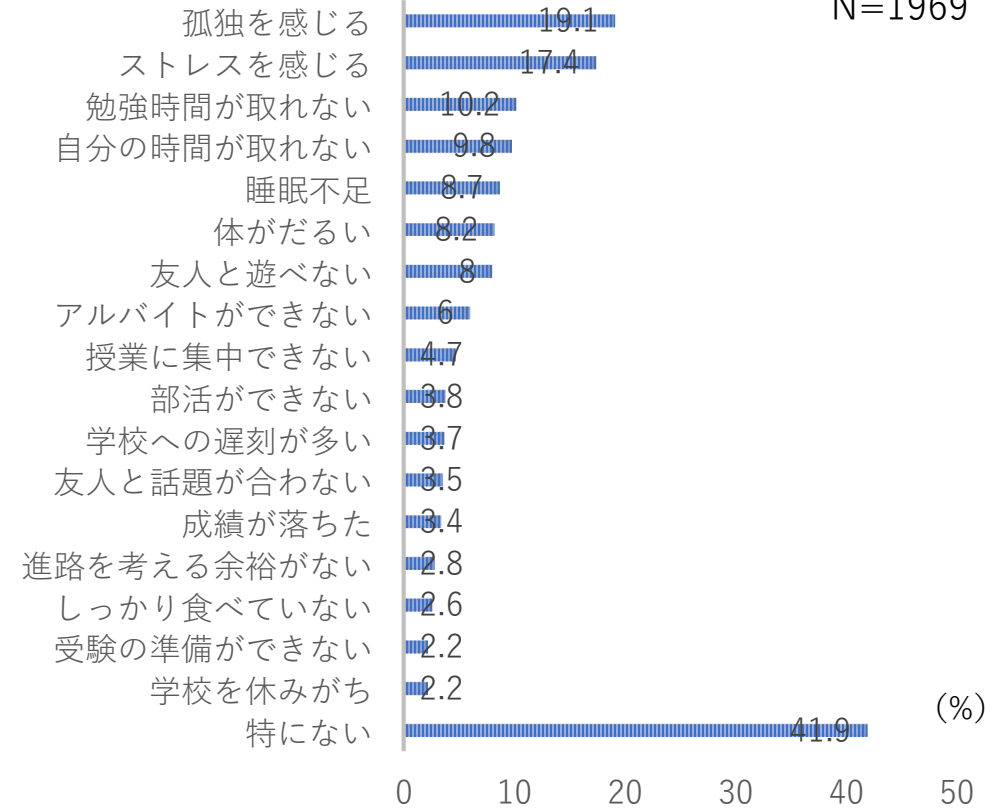
[中学校3年生 道徳科「家族の絆」](#)

[高等学校 福祉科「多職種連携によるチームアプローチ 利用者中心の協働と実践」](#)



家族のケアによる自分の生活への影響（複数回答）

N=1969



「埼玉県ケアラー支援計画のための
ヤングケアラー実態調査」
(令和2年 埼玉県福祉部地域包括ケア課)



掲載リストに戻る